



No.233

2015年4月号

図書館だより



鹿嶋市立中央図書館 TEL: 0299-83-2510

大野分館 TEL: 0299-69-1114

<http://opac.city.kashima.ibaraki.jp/>

世界・日本の 絵本と児童文学賞

昨年、児童文学作家の上橋菜穂子さんが国際アンデルセン賞を受賞しました。「小さなノーベル賞」ともいわれるこの賞ですが、日本人の受賞作家は、まどみちおさんが受賞して以来2人目となります。

国際アンデルセン賞のほかにも、日本国内や海外には、いろいろな絵本や児童文学の賞があります。

中央館では、国内外の主だった賞をピックアップしたコーナーを作りました。年間を通して随時入れ替えを予定しておりますので、是非ご覧ください。

絵本や児童文学は、手元に置いておくことのできる芸術作品。

お気に入りの本を見つけてみてください。



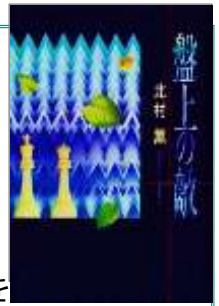
- = 中央館 大野分館とも休館
- = 雑誌リサイクルの日
- = かみしばい
- = 子ども映画会 大野シネマ館
- = おはなし会 読み聞かせの会
- = 鹿嶋の民話
- = 天文学講座

日	月	火	水	木	金	土
			1 中央館 大野分館 	2	3	4 中央館 11:00~
5 中央館 11:00~ 	6	7	8	9	10	11 中央館 大野分館 13:30~ 14:00~
12 大野分館 14:00~ 	13	14	15 中央館 14:30~ 	16	17	18 中央館 大野分館 11:00~ 11:00~
19	20	21	22	23	24	25 大野分館 14:00~
26	27	28	29 昭和の日	30		

私のおすすめの一冊

「盤上の敵」

北村 薫 著
講談社 (F/913.6/キ)



タイトルにある「盤上」とはチェスボードのことを指していますが、作中にチェスをプレイする描写があるわけではありません。しかし主要の登場人物を駒に見立て、策略を張り巡らせた全容を最後まで悟らせないよう慎重に組み立てられている構成は、まるで好敵手を相手に盤を挟んでいるかのような緊張感を読者にもたらしめます。

ストーリーは冒頭のプロローグを経て、主人公の家で立てこもり事件が発生するというセンセーショナルな出来事を発端に展開していきます。自らが知将となり命がけて「妻を救い出す計画」に臨む主人公〈白のキング〉と、取り囲む警察の厳戒突破を目論む無慈悲な籠城犯〈黒のキング〉。そして窮地に置かれている主人公の妻〈白のクイーン〉が語る過去の記憶は一体どのような意味を成すのか？

登場人物が駒であるならば、作品という盤を挟んで相対するのは私たち読者と巧妙な記述のマジックを仕掛けてくる作者なのかもしれません。全てを読み終えたとき、そこには思いもよらぬ形で終着した盤上の形が見えてくることでしょ。 (中央館 箕輪 カナナ)

松谷みよ子

～戦後の日本児童文学のパイオニア～

3月9日、児童文学作家の松谷みよ子さんが、89歳で亡くなりました。

児童文学作家として精力的に執筆活動を行ってきた松谷さんの代表作といえば、赤ちゃん絵本の金字塔「いないいないばあ」。

日本で初めて出版された0歳児向けの絵本は、発行から40年以上、世代をこえて読みつがれ大ベストセラーとなっています。

その他にも、親子関係や夫婦関係を丁寧に織り込んだ「小さいモモちゃん」シリーズの執筆、いじめや反戦などの社会問題への取り組み、明治以降に発生した現代の民話、怪談の収集・編さんなど、日本の児童文学の新たな開拓者のひとりとして大きな功績を残しました。

あたたかくやわらかな作風は、老若男女を問わず愛され続けています。

今一度、松谷さんの世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。





新着図書のご案内

ホームページの『おすすめコーナー』でも、毎週、**新刊案内**をお届けしています。是非、ご覧ください。



『**それを愛とは呼ばず**』(F/913.6/サ)

桜木 紫乃 著

社長である妻のほか社内の人脈を持たない亮介の生活は、彼女の事故をきっかけに転落してゆく。会社と故郷を追われた先のキャバレーで出会った紗希もまた、夢に破れた女性だった。原因のない不幸と向き合い、受け入れなければならない切ない現実を生きる人間を、丁寧に描いた物語。



『**神様のカルテ 0**』(F/913.6/ナ)

夏川 草介 著

医師、患者、そして彼らを取り巻く人々のあたたかな関係を描いた名作の、待望の番外編。国家試験を目前にした一止と彼の友人たち、本庄病院の大狸先生こと内科部長、板垣先生と対立する事務長金山氏の不思議な交流、山岳写真家である一止の妻・榛名の信念…命と向き合うことの大変さ、それを真摯に見つめる人々の前日譚が描かれます。



『**はじめて作る和菓子のいろは**』(596/ウ)

宇佐美 桂子 著

季節を感じさせる見目麗しい和菓子の数々。洋菓子に比べると、手作りが難しそう…。そんなイメージを、この一冊が払拭します。おいしい素材と配合、きれいに作るコツなど、初心者だけでなく、作り慣れた人にもうれしい丁寧な説明で、ずっと手元に置いておきたくなります。

今月の
おすすめAV



CD『**ちょんまげ天国**』

(D24/チ) 大野分館所蔵

60年～90年代頃のTV時代劇で使用された楽曲、テーマ曲を集めたアルバムです。時代劇をよく見ている方にはもちろん、「水戸黄門」の曲くらいしか知らないといった方でも、どこかで聞いたことがある曲が見つけれられるのではないかと思います。

好きな曲があったら、その曲が使われた時代劇を見てみたくなるかもしれません。



「おじいちゃんとのやくそく」(E/726.6/オ)

いしづ ちひろ 作

大好きなおじいちゃんが急になくなってしまった…。のぞみは悲しみにしずみみます。ある日の夜、夢にあらわれたおじいちゃんが言いました。“おじいちゃんの木”に何でも話してごらん、と。うれしかったことやかなしかったことを木に話しかけて、のぞみは少しずつ元気をとりもどしていきます。



「死神うどんカフェ1号店 四杯目」(K913/I/Y.A)

いしかわ ひろ ちか 作

2年前の事故をきっかけに心を閉ざして生きてきた希子。しかし、死神うどんカフェ1号店との出会いによりそんな日々も終わりを告げる。新学期が始まり、希子が同級生との距離を縮めていく一方で、亜吉良は重大な悩みを抱えていた。



「アレハンドロの大旅行」(K913/キ)

きたむら えり 作

アレハンドロは、まだ一度もしゃべったことがありません。お父さんとお母さんは心配して、古い師の言うとおりに、遠くに見える丘まで旅をさせることに決めました。とちゅうで出会おう動物たちにうまく話しかけられないまま、丘にたどり着いたアレハンドロは、思わず大きな声をあげました。

こんにちは♪ 大野分館です。🌸🌿🌻🌸

♪行事のお知らせ♪

- おはなし会「てぶくろ」 大野分館 おはなしのへや
4月11日(土)14:00～
- 大野シネマ館 大野ふれあいセンター2階 AV室
4月12日(日)14:00～ 『錨を上げて』(139分) 主演:フランク・シナトラ
- 読みきかせの会 大野分館 おはなしのへや
4月18日(土)11:00～
- 子ども映画会 大野ふれあいセンター2階 AV室
4月25日(土)14:00～ 『イソップ物語3』(50分)

～次の雑誌リサイクル・図書館だよりの発行は、5月1日(金)予定です。～